

ルーブリック名称

臨床治療学概論レポート評価

アウトカム

治療方法開発が不十分な疾患について、現状を踏まえて、その上、解決に至るべく研究アプローチ的目線を持つ。

具体的パフォーマンス	キャップストーン	マイルストーン		ベンチマーク
	4	3	2	1
疾患治療の現状を踏まえたうえで、その解決のために研究的アプローチを考案できる。	病態の既知事実把握ができており、独自性と実現可能性のある研究アプローチ案が提示できる。	病態の既知事実把握ができ、独自性のある研究アプローチ案が提示できている。	病態の既知事実把握ができ、研究的アプローチを考えようという姿勢がみられる。	病態の既知事実が把握できている。